

H o k u r i k u P C P r e s s 第70号

発行責任者 三菱電機株式会社 北陸支社 官公システム課 稲崎義明

フ リ 一 系 U N I X (3)

フリー系のUNIXとしてまず出てきたのが、BSD系と呼ばれる主流であるUNIXのなかで、一部で使用していたSystem-Vのコードを、独自のコードに変更した4.4BSD-Liteです。これが誰でも使用できるUNIX-OSとなりました。そして、この4.4BSD-Liteがこの後に出でてくるFreeBSD、NetBSD、OpenBSDなどのBSD形PC-UNIXの元となりました。

一方で、ヘルシンキ大学のりナス・トーボールズが、AT&Tとはまったく何のかかわりもなく、軽く作り上げてしまったのが「Linux」です。カーネルのコードがまったくオリジナルであるため、AT&Tを含め誰からも文句の言わされることのないフリーのUNIX-OSとなりました。このLinuxという名称は、厳密にはUNIX-OSをさすのではなく、このカーネル部分を指します。では、それ以外のUNIXの機能を提供するコマンドはどうかといえば、すべてが世界中のボランティアが開発したフリーソフト（最近ではオープンソースソフトといっていますが）を使っています。

最近のワークステーションなどの商用OSはSystemV系を使うことが多いですが、主流となっているSystemV系もBSD系も機能的には両者のよいところを取り入れるなどして統合化が進んでいるため、違いはほとんどなくなっています。

それに対して、FreeBSDやLinuxなどのフリー系のUNIXは、世界中の有志によって保守・改良が施され、各種ハードにも移植が進んでいます。日本でも日本特有の機器に対して京都大学などで移植が進んでいます。UNIXやWindowsなどの商用OSに対比した場合、フリー系のUNIXはその開発形態や配布方法が独自であることも注目を集めている理由です。

UNIXは、世界中の先端エンジニアが腕を競って作り上げたOSで、初めは契約さえ結べばソースコードを手に入れることができ、ベンダーが独自の機能を追加して販売することができました。そういう意味ではニーズに合ったシステムを選択する自由を持つ、健全な競争原理を維持してきたということができます。

フリー系のOSといえば、個人的に使う上では問題はないが、ビジネスに利用しようとなればその保守などに不安があるものでした。しかし、Linuxなどは、世界中のエンジニアが使い、いろいろな情報をインターネットなどを通して流しているために、性能的には非常に安定しているといつていいと思われます。新技術に対しても、世界中で改良を行っているわけですから、必要なものが必ずあるといつても過言ではないかもしれません。今後は、ネットワーク用のOSとして、重くなりすぎたOSが多い中、ひとつの選択肢としてなりうるものと考えられます。

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 1月25日号

特集 読者が選ぶ1999年版ヒット商品 ブランド力で勝つ

→毎年恒例のヒット商品調査。増える一方の商品の中で、選びにくくなるユーザは強い「ブランド力」が選択の一部になっている。ブランドでヒットを生み、ブランドでシェアを保つ。

解説 HAViとJini、家庭を舞台に激突

→デジタルインターフェースを持つ家庭用機器が増える中で、各社の機器を接続する使用として「HAVi」と「Jini」が激突している。AV機器に特化したHAViと特定の機器を想定していないJini。仕組みは似ているが互換性はない。

○日経パソコン 1月25日号

特集 企業が求めるPCスキル

→企業内で「パソコンできる」とはどういうことか。転職などに必要なPCスキルの中身は。

特集 Windows 95/98の「レジストリ」探検

→Windows 95/98の設定情報を一手に担うデータベースである「レジストリ」。レジストリを操作することによって色々なカスタマイズができるが、操作することは危険も伴うのでご注意

○日経バイト 2月号

特集 マイクロソフト以外の選択肢

→パソコン業界を引っ張ってきたマイクロソフト。しかし、寡占化するようになって産業界、消費者保護運動から将来を危惧する動きが出てきた。

特集 台頭するPCワークステーション

→Windows NTを搭載したPCワークステーションが急成長している。UNIXワークステーションと遜色ない性能とパソコンと同程度の低価格で手に入るため、シリコングラフィックスのワークステーションもWindows NTを搭載して新登場した。

解説 インターネットの図書館を目指すOracleとMicrosoft

→次世代のデータベースサーバは、インターネットを標準に、さまざまなインターネットクライアントからのアクセスを可能にする。

○ ASCII 2月号

特集 The 検証

→色々な噂の検証特集。パソコンのビデオ録画、乗り換えソフト、携帯端末のメール等。本当に使えるのか。

特集 Excel 97の鬼と化す 秘孔100

→Excelを使い込むには。達人になるためのテクニック、裏技のポイントは。

特集 PCユーザのための厳選お役だちサイト200

→買い物、裏技、用語辞典など、使えるインターネットのサイト200

○ **ASCI DOS/V 3月号**

特集 **Intel New Deal**

→新年早々インテルから新CPUが登場。Celeron-400/366、D ixon Pentium IIなど7CPU。その性能は。

特集 **集中連載 99年のニューOffice**

→マイクロソフトのOffice 2000、シャストシステムのOffice 9などバージョンアップしたOfficeの特集

特集 **ケータイモバイル新世紀**

→携帯電話、PHSがどんどん便利になっている。64kbpsのデータ通信、携帯メールなど。大画面を備えてモバイル情報機器となってきている。

○ **PCWORK 2月号**

特集 **Windows 2000大百科**

→Windows NT5.0を改名したWindows 2000。Windows NTの基礎からWindows 2000になってどう変わるか。

特集 **パソコンパワーアップ術**

→処理速度に不満を持ったとき、本体は変えずにどのようにパワーアップするか。5万円でできる方法。

○ **DOS/V magazine 2月15日号**

特集 **最新HDD乗り換え案内**

→大容量になってしまったHDD。交換からトラブルシューティング、購入ガイドまで。

特集 **ドライバ/BIOSアップデート学**

→最新ドライバ/BIOSの情報入手テクニックと活用術。